

教科 科目名	地歴公民科	学年・科目群	1学年・必修	現代の社会と人間について理解を深め、公共の変化や様々な考え方を公正に判断し、【他者を思いやる力】を育む。また、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けた参加・協力する態度を身につけ、【協働する力】を身につける。
	公共	単位数(年間授業時数)	2単位(70時間)	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化や国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
三つの柱	(1)	知識及び技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵(かん)養(よう)される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
教科書 教材	【教科書】『高等学校 公共(教育図書)』 【副教材等】『高等学校 公共ワークノート(教育図書)』、『公共資料集24-25(清水書院)』		
ポイント	(1) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、A4の2穴ファイルを必ず用意してください。 (2) 必要に応じてタブレットを使用します。充電を忘れないように注意してください。 (3) 授業に使用する教科書や持ち物を忘れた場合は、必ず朝のうちに申し出るようにしてください。授業開始直前・授業中では対応できません。 (4) 授業は全員に与えられた学習の機会です。周囲の迷惑になるような言動は慎みましょう。 (5) 日頃からニュースや新聞を見る癖をつけましょう。教科書や資料集の大半の語句は、ニュースや新聞で取り上げられているものです。		
学習評価	評価の観点		
	a	知識・技能	①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ②諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	b	思考・判断・表現	①現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用している。 ②事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し、議論したりしている。
	c	主体的に取り組む態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4	オリエンテーション ～公共って何？～	授業のルールを確認するとともに、中学校までの社会(公民)の授業を振り返り、公共の授業の見通しを持つ。	授業のルールや目標を理解し、公共を学ぶ必要性について考えようとする。	未来を見通す力・創造する力	知 ワークシート 主 取り組みの様子	1
	4	公共と人 ～人は一人では生きられない～	人間は個人として自立しながら、同時に他者となつながら社会の中で生きている。社会の中での対話の重要性や差別や分断が起こる理由を考える。	自分のアイデンティティを見出し様々なテーマをもとに対話することで、多様性を認め合う公共空間の重要性を考えようとする。	協働する力・他者を思いやる力	知 レポート 思 レポート、ワークシート 主 グループ活動の様子	6
	5	公共と倫理 ～あなたは誰をどうやって救う？～	人間が共に生きる公共空間の中で、私たちはどう生きるべきか思考実験や哲学者の思想から、倫理について考える。「トロッコ問題」「水俣病と経済成長」「高齢化と医療負担」	先人たちの思想を学び、どれかを優先するとどれかをあきらめざるを得ないジレンマが生まれた時に、それぞれの立場から物事を捉えてよりよい案を考える。	未来を見通す力・創造する力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 グループ活動の様子	6
	6	公共の基本原則① ～ものごとをどう決める？(民主主義)～	生徒会予算配分について、どの分配方法がより公正で皆が納得できるか議論をする。また、意見が分かれた時にどのように結論を出すのが最も公平であるか検討しあう。	ルールを明確にして話し合いを行う中で、意見が分かれた場合の意見調整・決定機関を理解する。生徒会を例に、民主主義や直接民主制や間接民主制等の基本的な考え方を学ぶ。	他者を思いやる心・創造する力	知 単元テスト 思 グループ活動の様子 ワークシート 主 グループ活動の様子	6
	6・7	公共の基本原則② ～日本国憲法の三つの原理を学ぼう～	国民がもつ権利は、日本国憲法により定められている。自由や平等などの基本原則について理解する。	日本国憲法の三つの基本原則を通して、「法の下での平等」における男女格差問題について考える。	未来を見通す力・創造する力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 取り組みの様子	6
	8	契約と消費 ～なぜ未成年者は自由に契約できないの？～	身の回りにおける契約について触れ、契約自由の原則の下、個人の自由で契約を結んでいる背景を理解する。	消費社会において、未成年が契約できない理由や消費者が様々な法律によって守られる理由を考える。	創造する力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 取り組みの様子	5
	9	司法と裁判 ～冤罪はなぜ生まれるのだろうか～	日本の裁判制度の仕組みや司法制度改革の背景を理解する。	制度の仕組みや背景を学び、死刑制度や冤罪事件、無罪の推定や有罪の確定について等、理論的に考えようとする。	創造する力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 取り組みの様子	8
	10	国政と地方自治 ～日本の若者の投票率はなぜ低い？～	政治参加するための仕組みや選挙制度、国と地方自治体の関係性について理解する。	選挙制度や地方自治体の問題点をあげるだけでなく、羽根町の地域社会の課題を見つけ、請願内容や解決策を考え、提案をする。	探究する力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 グループ活動の様子	8
	11	国際社会と安全保障 ～なぜ戦争はなくなるのだろうか～	国内における自衛隊と憲法の関係性について理解した上で、世界の主な紛争や難民増加の背景について理解する。	日本国憲法第9条の解釈について学び、日本の安全保障について考える。また、世界の平和実現のための国際機関や克服すべき二つの暴力を踏まえ、戦争をなくすために日本ができることを考える。	未来を見通す力・他者を思いやる力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 グループ活動の様子	7
後期	12	職業選択と労働問題 ～地方で働く？都市で働く？～ ～AIの進化は仕事をどう変える？～	日本人の働き方の変化、今後の職業の在り方について理解・考察をする。	働く目的とワークライフバランス、AIとの共生について考える。また、どこでどのように働くか等、多様な側面に注目し、将来についても考える。	未来を見通す力・創造する力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 取り組みの様子	4
	1・2	財政と税 ～このままでは借金まみれの国になってしまう～	財政を実施する目的や国の予算の実態、租税の種類や国債について理解する。	日本の財政状況は深刻であることを学び、財政支出削減のためにすべきことを考察する。	未来を見通す力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 取り組みの様子	4
	2	少子化と社会保障 ～自分が年老いた時、誰が世話をしてくれるだろう～	社会保障制度の仕組みや少子高齢化によってどのような課題に直面しているか理解する。	私たちが年金を払う世代、受け取る世代になった時を想定しながら、どのような年金制度が望ましいか考え、提案をする。	未来を見通す力・他者を思いやる力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 グループ活動の様子	4
	3	市場経済と金融 ～物の値段ってどう決まる？～	市場経済の役割と限界や金融の働きと日本銀行の役割について理解する。	市場価格のメカニズムを学び、オークションや不正転売について考える。また、日本銀行の役割を学び、現金とキャッシュレス等について考える。	未来を見通す力	知 単元テスト 思 ワークシート 主 取り組みの様子	5
							70

教科 模 所 開 連	単元	公共の基本原則① ～ものごとをどう決める？(民主主義)～	School Rules(学校のルール)について自らの意見を持ち、それを英語で話したり書いたりする活動を通して、自分の考えをわかりやすく伝える力を身につける。「公共的な空間」とは国や社会等を示すが、高校生にとって最も身近な「公共的な空間」である学校を場とすることで、自主的によりよい公共的な空間を作り出していくとする自主性や課題を追究する力を身につける。
	関連	英語コミュニケーションⅠ	